**平成２８年度　外国人留学生研究助成申請書**

|  |
| --- |
| 受　　　　　付 |
| 月　日 |  |
| 番 号 |  |

公益財団法人　飯島藤十郎記念食品科学振興財団

理事長　　飯　島　幹　雄　殿

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １申請者 | 所 属 機 関（ふりがな）氏　　名 | 大学（分野相当まで記載すること）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　役職　　　　　　　　　　　 |
| 所 属 機 関　　住　　所 | 〒　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ＴＥＬ　　　（　　　　）ＦＡＸ　　　（　　　　）ｅ－ｍａｉｌ |
| ２　留学生氏名： |
| ３　研究課題（和文）： | ４　申請額（千円） |
| ５　研究課題の意義： |
| ６　今までの研究経過および見通し： |
| ７　所属機関長の推薦当機関に所属する上記申請者（指導教授）及び外国人留学生を推薦します。平成　　　年　 　月 　　日 |
| 　　　所属機関長・所在地・氏名　　　　　　 | 職印 |  |
|  |

**平成２８年度　外国人留学生研究助成申込書（留学生本人用）**

年　　　月　　　日

貴財団の外国人留学生研究助成募集要領に従い助成金を申請いたします。

|  |
| --- |
| １　　氏　　名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　国　　籍　　　　　　　　　　　　　　　（姓）　　　　　　（名）　　　　　　　　　　　　　　　　・　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　　月　　　日生　（　　　才）　（ 男 ・ 女 ） |
| 母 国 式 の 発 音：（カタカナ） | 日 本 式 の 発 音:（カタカナ） |
| ２　　現住所　　〒 ＴＥＬ：　　　　（　　　　　）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（借家・下宿・寮・アパート・その他） |
| ３　　在学大学名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　大学大学院　　　　　　　　　　　研究科博士　　　　年次　　　　　　　（　　　　年　　　月入学） |
| ４　　学歴 （ 母国及び日本での学歴 ） |
| 学校及び専攻学科名 | 所在地 | 就学時期 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| ５　　母国での職歴 |
| 勤務先名 | 所在地 | 勤務時期 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

|  |
| --- |
| ６　　研究課題（和文）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（英文）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
|  |
| ７　　研究計画及び方法 |
| ８　　申請研究経費の使途・内訳 |
| 区　分 | 内　　　　　訳 | 金　　　額　（千円） |
| 設備備品費消耗品費旅費その他 |  |  |
|  | 合　　　　　計 |  |
| ９　　卒業後の進路計画 |
|  |

10　現在、日本学術振興会およびその他団体への助成金・奨学金を申請中・申請予定のものがあれば記入。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 申請先 | 申請額（年額） | 支給期間 | 決定期日 | 備考（研究助成、奨学金等の区分および重複受給の可否等を記入） |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

(公財)飯島藤十郎記念食品科学振興財団

平成２８年度　外国人留学生研究助成申請書・申込書記入要領

Ⅰ　一 般 注 意 事 項

１　申請書・申込書の記述は、必ず黒字によるパソコンを使用して下さい。

２　申請書・申込書は当財団所定の用紙を用い、一件につき一通（３葉１組）をご送付下さい。

記入事項が各欄に収まらないときは、ページが増えても差し支えありません。

３　申請書類は返却いたしかねますのでご了承下さい。

Ⅱ　各 項 目 留 意 事 項

１　申込書「6.研究課題」は、和文、英文ともに申請研究内容を具体的に表現するものとし、和文は50字以内が望まれます。

２　申込書「7.研究計画」では、本申請研究課題の内容との関連性を中心として本研究助成で明確にしたい点を具体的に記述して下さい。また、申請した研究経費の費用との関連が具体的に理解できるように明確に記述して下さい。

３　申込書「8.申請研究経費の使途・内訳」のうち、

1）設備備品の１点の金額が50万円を超える場合は見積書とカタログ（各１部）を同時に送って下さ

い。

2）「消耗品費」は、実験動物、ガラス器具、試薬類のように種類に分けて記入して下さい。

3）旅費・交通費は、資料収集、調査、研究打ち合わせ等のためのものを記入して下さい。なお、学会、定期総会や国際会議等への出席は助成対象になりません。

4）その他の欄は、使用機器修繕費、印刷費、投稿料等の種別に分けて記載して下さい。

４　申込書の「10」の他機関（日本学術振興会、他財団、団体等）の助成について、現在申請中又は申請予定のものを記載して下さい。備考欄には、研究助成、奨学金等の区分とともに、当財団の研究助成との重複受給の可否を確認の上記入して下さい。また、記載した他機関への申請が採択された場合は、至急その旨ご連絡下さい。

なお、他の民間研究助成との重複助成は行いません。

５ 申請書「7.所属研究機関長の推薦」は、機関長（大学院研究科長又は研究所長）か、それ以上の役職の方の推薦を必要とします。

以上